

8月 「豪雨をもたらす 積乱雲」
大雨に備えて③

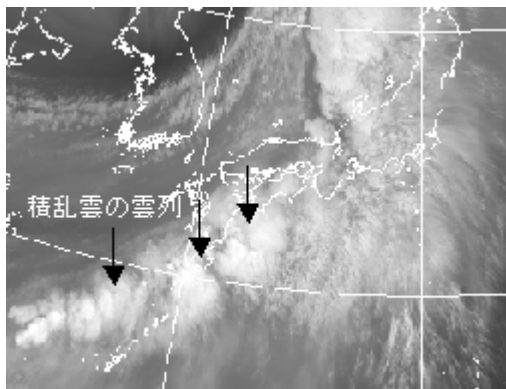
青空にモクモクと白く湧き上る「入道雲」は夏を象徴する雲です。

この雲が現れると雷発生の危険信号もありますが、正しい名称は「雄大積雲」あるいは「積乱雲」です。

この雲の峰がおよそ八千から一万メートルの高さになると、雷が鳴り始め、時には成層圏に届くほどの高さ（約一万五千メートル）にまで達します。

このような雲の下では大雷雨となり、滝のような猛烈な雨、雹（ひょう）が降り、突風や落雷など激しい気象現象が起こるため十分な注意が必要です。

前回お知らせした「集中豪雨」も、発達した積乱雲がライン状に次々と発生するために、狭い範囲に雨が集中し豪雨となります。



上の画像は、2006年6月15日09時の気象衛星水蒸気画像です。東シナ海に次々と積乱雲（白く輝いて見える雲）が発生し、九州や四国に入り込んでいる様子が見えます。

この日、四国の一部では日雨量が

300mmを超える豪雨となりました。

なお、日立の過去の記録(下表)からも、短時間に激しく降る雨は雷鳴を伴うということ、私たちに教えてくれています。

※ 日立の過去の一時間降水量の順位

観測開始年：1953年

順位	時間降水量	年月	要因
1	88.0mm	1999年10月	低気圧(雷)
2	73.0mm	1980年9月	雷雨
3	66.7mm	1962年8月	雷雨
4	60.7mm	1962年7月	雷雨
5	52.2mm	1961年6月	梅雨前線

天気相談所では大雨災害に備え、市内の予想降水量をホームページ上で発表し、市の防災機関へも情報を提供しています。

また、「馬の背を分ける」といわれる雷雨などの局地的な雨にも対処するため、市内の6地点（市役所・諏訪スポーツ広場・南部支所・北部消防署・本山あかさわ山荘・西部支所）に雨量計を設置して、大雨を監視しています。

日立の気候表

※1971～2000年の平年値

	7月	8月	9月
平均気温℃	22.9	24.8	21.6
降水量 mm	142.4	148.2	197.9
日照時間	136.2	181.3	129.9

日立市の天気予報はホームページで毎日発表しています。

<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso>

電話での問合せは 直通電話 22-5520

IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ